

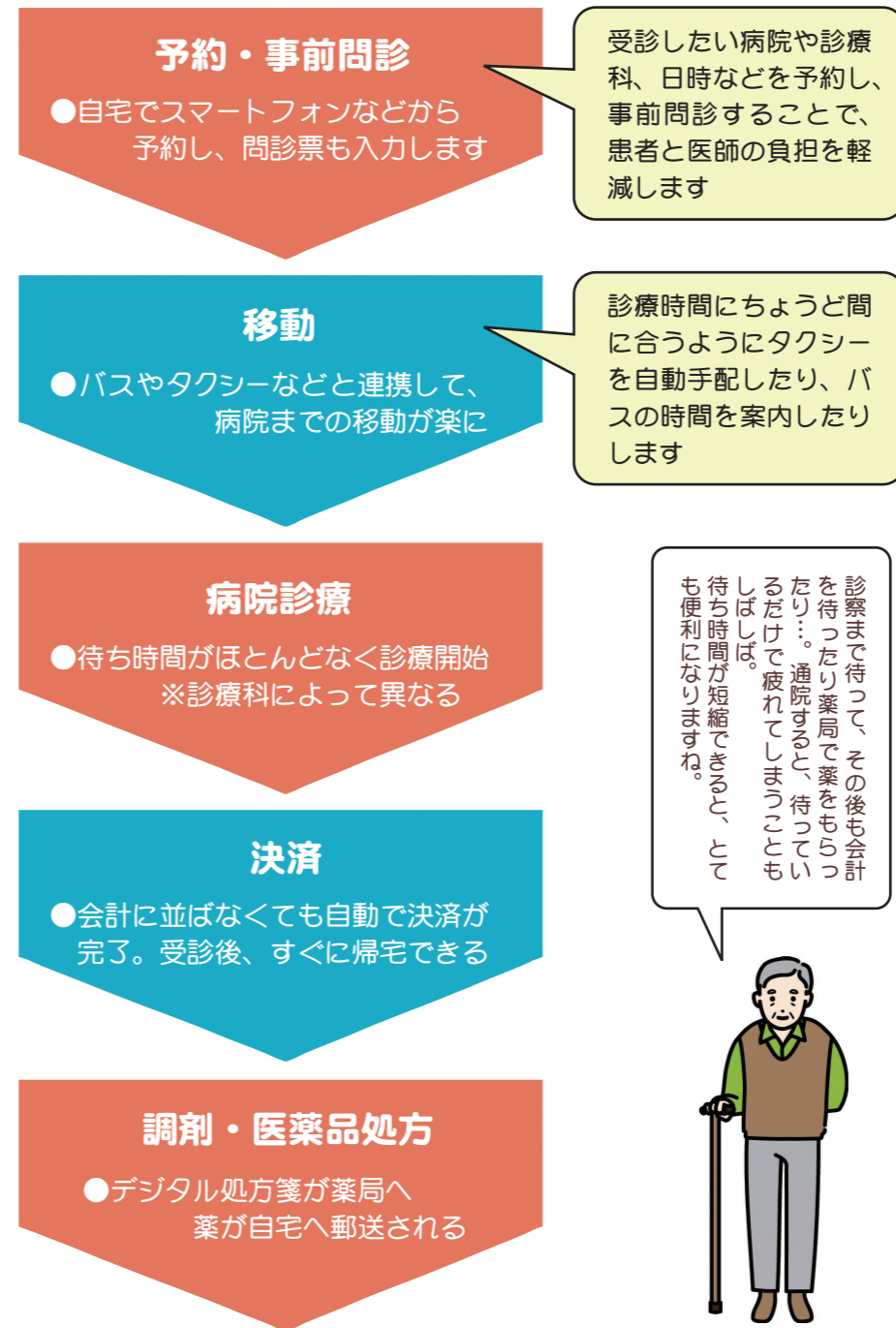
ヘルスケア分野

医療従事者も！
市民も！ICTでみんながうれしい
「健康最先端都市」の実現を目指します

事業イメージ① 医療機関滞在15分プロジェクト

「具合が悪くて病院に行ったのに待ち時間が長い」を解決！

●病院の予約も移動も診察も会計も薬をもらうのも、全て効率化し通院がもっと便利になります



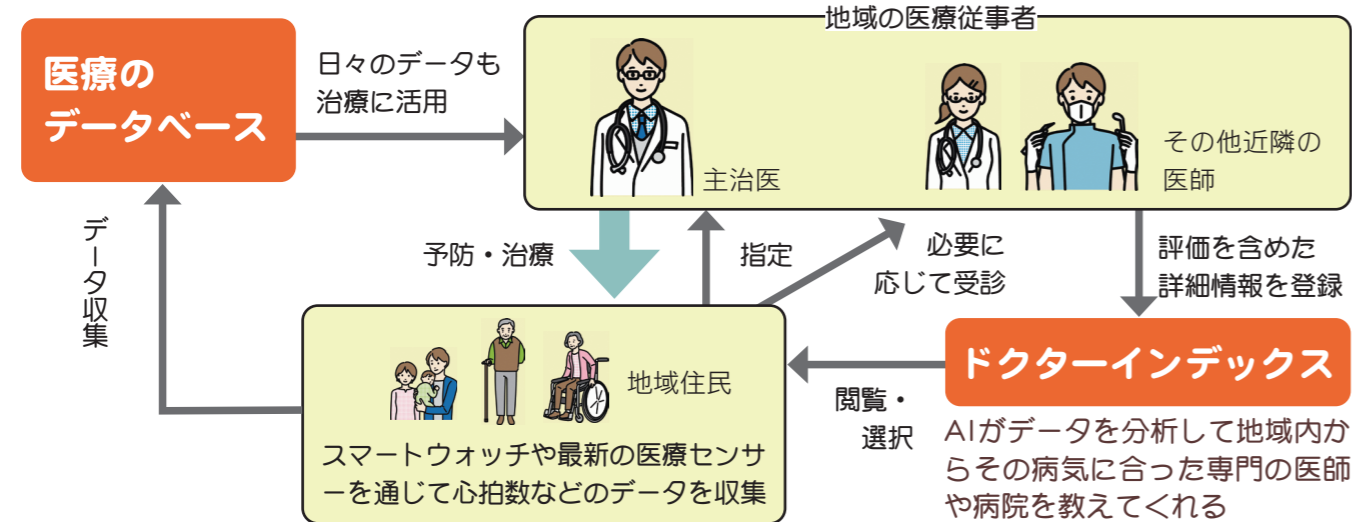
スマートシティ会津若松で目指す
イメージや将来像を紹介します

事業イメージ② 地域全体で一つの病院となるバーチャルホスピタル

具合が悪いけれど、この症状ならどの病院に行ったらいいの…？ そんなときは！

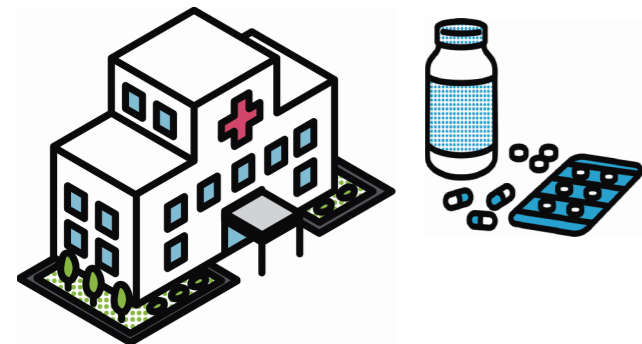
●バーチャルホスピタルでは、体調不良の原因を予想して、専門の医師をAIが紹介してくれるので、最適な医師を選ぶことができます

【バーチャルホスピタルで実現する医療のイメージ】



事業イメージ④ 個人に属する医療データの活用

●本人の同意に基づいて、ほかの病院の受診情報や処方された薬の情報、健康診断の結果など、各所でばらばらに管理されている個人の健康・医療のデータを一通り活用できるようにします。病気の履歴や飲んでいる薬の情報、ヘルスケアのデータもしっかりと記録できます



事業イメージ③ 介護・高齢者へのデジタル介護予防の実現

「介護って大変だけれども、ICTを使って負担が軽くなったり、予防ができたりしないの？」と思ったことはありませんか？

●病気や介護状態にならないように、予防医療や介護予防に力を入れ、市民の皆さんの健康寿命を伸ばします

要介護リスクに関する情報の可視化、予防対策による高齢者の生活の質の向上

認知症を採血などによるデータから予測する仕組みを開発し実証していきます。認知症のリスクが高い人へは、早期に対策を行っていきます

IoT技術の活用による介護従事者支援

ロボットやIoT機器などを活用し、介護従事者の負担を軽減して、満足感や達成感を得られる職場づくりを進めます

都市OSとの情報連携による家族介護者の支援

家族介護者に都市OSなどを介した情報共有をし、孤立しがちな介護者をサポートします

▶都市OS…サービスを提供するための、データを分析・活用するためのプラットフォーム。本市でいう「会津若松^{プラス}」